

〔曲山松之助 おしやま まつりのすけ 國史學者、文學博士。明治四十五年六月二十八日兵庫縣赤穂郡有年村生れ（一九二一）。昭和十五年東京文理科大学國史學科卒。二十四年東京高等師範學校教授、二十九年東京教育大學教授、五十一年成城大學教授。江戸町人研究會主宰。日本文化史研究の第一人者。

著書 『家元とのぶたり』（昭和二十一年七月五日産業經濟新聞社）、『東京歴史散歩』（合著、昭和二十二年一月五日河出書房「河出新書」）、『芸の顔―伝統と前衛』（昭和四十四年十一月二十五日秀英出版）、『江戸ッ子』（昭和五十五年八月一日吉川弘文館「江戸選書」）、『歌舞伎をみる―みがかれた芸の新こころ』（昭和五十六年五月二十日岩波書店「岩波ジュニア新書」）、『しぶらの里―宿場町民俗誌』（昭和五十七年六月二十八日吉川弘文館）、『江戸ッ子と江戸文化』（昭和五十七年七月二十日小学館「小学館創造選書」）、『南方録』（校注、昭和六十二年五月十六日岩波書店「岩波文庫」）等。

〔曲山松之助先生年譜著作目録』（昭和五十七年七月）曲山松之助先生「古稀記念會」刊。

